

令和6年度 静商同窓会関東支部総会・懇親会



「静商の想い出を持って集まろう」のテーマに、東京オリンピックの元聖火走者がトーチを持って駆けつけた



発行人
静岡県立静岡商業高等学校
同窓会 関東支部
(静商同窓会関東支部)
〒244-0801
横浜市戸塚区品濃町
547-1 B501
TEL 090-1117-2750

編集
関東支部広報部会
令和7年5月28日発行
(毎年1回・5月発行)
題字 初代支部長
湯本克巳氏
第34号

静商の想い出を持って集まろうのテーマに、東京オリンピックの元聖火走者がトーチを持って駆けつけた。静商の想い出を持って集まろうのテーマに、東京オリンピックの元聖火走者がトーチを持って駆けつけた。

令和6年度の総会・懇親会は、7月6日(土)千代田区平河町の都道府県会館で行われ、関東地区在住者82名(男性61名、女性21名)、静岡地区からの参加者19名(男性14名、女性5名)、来賓4名、総数105名が新たな総会会場に集まり、総会と懇親会を楽しんだ。

まさかの『想い出の品々』が集まる



大石倫義支部長



参加人数をみると、静岡から参加している人が2割近くいることに驚くが、当年度の運営役員を応援しようと静岡から交通費をかけて来てくれる人がいる一方、元関東支部の会員で静岡に戻ったが、関東の総会・懇親会は楽しいか

しかし、学生会館も建築以来100年を経過し、耐震性の問題や各所の老朽化が進んでいることから、建物のリニューアルが行われることになった。

使いやすい施設だったので、使えなくなると聞いたときは動揺したが、リニューアル後に歴史ある学生会館が利用できれば、また総会・懇親会を開きたいものである。

ら、という純粹な気持ちで来ている人も居るところに感謝したい。

第一部の総会では、活動報告・会計報告・役員人事・活動計画・予算案の決議を行い、第二部の懇親会では、45年卒を中心とした運営役員が「想い出を持って集まろう!」というテーマで、想い出の品を持ち寄ることを呼びかけ、当時の品が呼び起こす記憶の嵐に期待をした。不安を感じつつ、ふたを開けたら、色々な想い出の品が揃った。

仲間が集まれば話が始まる。お酒があれば話が楽しくなる。それだけで、同窓会が成立する、と言った役員が居たが、加えて「想い出の品」があれば

ば鬼に金棒だ。

その意味で、想い出の品を大切に保管している人がいるのが分かったのは収穫だった。

今年の総会は、思いついた品をポケットに忍ばせて、総会会場に向かうのも一興かもしれない。

静商同窓会関東支部
支部長 大石倫義

宗野治義元支部長 急逝

設立当初から関東支部の役員を歴任した宗野治義氏が3月23日病気で亡くなりました。

氏は、創立初年度に幹事、平成7年度から常任幹事、平成14年度から副支部長、平成23年度には支部長に就任し、初期の関東支部の会員管理の基礎を作られ、支部長を降りられた後も同期との書簡集「絆」を編むなどして、最後まで同窓会役員でした。

ここに慎んでご冥福をお祈り申し上げます。



令和7年度
関東支部
総会・懇親会
7月12日(土)
都道府県会館
詳しくは案内チラシを参照



S45年卒 土屋重和

役員の二人以外はたった三人の未経験者だけでのスタートで、不安だらけでしたが、皆様のご指導と秋山さん、矢部さん、筑井さんのご協力により何とか運営する事ができ、皆さんに感謝、感謝です。

テーマにした「静商の想い出を持つて集まろう」は、バラエティに富んだ品物が集まり、何よりご本人の熱い想いが伝わり良かった。オリンピックの聖火ランナーになった神山さんの周囲には、同じ軟式野球部の方々も集まって、良い記念になった。

プロジェクターに映し出される動画が臨場感を増し、参加した皆様も当時の想い出と重なって喜んでくれた。野球部で43年は3塁手、

44年は投手として甲子園に行った松島さんの持参された品物（当時のユニフォームや、ブラジル遠征時のサイン入りのボール）を紹介するところではMC慣れしている相川さんとのやり取りが良く非常に盛り上がった。思った以上に喜んでもらえたと思う。

もう一つ力を入れたのは「郷土の名産品販売」で、販売個数の設定もあったが最後に少し残ったものも場内アナウンスしてもらったりして、全て完売でき良かった。（そうそう、「郷土の名産品」の品揃えに、今回初めて「うなぎパイ」が加わりました）

最後に45年卒の同期が静岡から4名、山口さんの声かけで3名の女性が参加してくれ、過去最高の12名となり、普段は口数の少ない我が同期のエイズ松島さんの中締めもピシッと決まって、最高でした。



テーマ
もって集まろう!!
親会を担当して

千葉県に来て、40年が過ぎましたが、同窓会関東支部の総会に参加したのは、4回目。そして、当番幹事を初めてやりました。

「静商の想い出を



S45年卒 山口千江

持って集まろう!というテーマで色々工夫はしましたが、楽しいものが集まるか、何人の人が持つて来てくれるか、当日まで不安でした。しかし、懇親会の場では沢山の方が持参した物の自慢話をしたり、共感、感動してくれていたので、当番幹事としては成功した!と思いました。

私たちは72才ともうすぐ後期高齢者ですが、関東同窓会の元気な先輩方も、5年を過ぎると出席者がぐっと減るのではないでしょ

S45年卒 松島英雄



同窓会の懇親会にお集まりいただきありがとうございます。当番幹事として、想い出の品を持ち寄って学生時代を懐かしむ!という企画をしてみました。

皆さんそれぞれ、思い出話に花を咲かせて楽しんでいました。懇親会も盛り況のうちに無事終了することができたと思います。

当番幹事と言う良い経験をさせてもらい、ありがとうございました。

私は野球のユニフォームを持参して、厳しい練習、二年連続甲子園出場、高校代表でブラジルに行った話しをしました。





今年の運営役員は、35年、45年、55年のメンバーが運営役員でしたが、若い世代のメンバーが揃わず、45年のメンバー中心の活動になってしまいました。

それでも、何回か飲み会を兼ねて集まって、テーマを考えたり当日の進行や役割分担を考えたり、それは楽しいプロセスでしたね。

同じクラスでもなかった、同期のメンバーが集まって、こんなものがあるよ、と想い出の品のサンプルを持ち寄って話をするだけで、気分は同窓会です。

何よりも驚いたのは、松島さんの50年以上前のユニフォームで、色褪せもしておらずクリーニングをしたままの状態のようで、お母



S45年卒 大石倫義

音楽部の定期演奏会ポスター、東京オリンピックの聖火トーチ、甲子園関連グッズが展示され、自分が写っている朝日グラフを持参した人もいて、あちらこちらで話題が沸騰していました。

ブラジル遠征記念のサインボールには、松島さんのサインの隣に青森三沢高校の投手太田幸司の名前があるのを見つければ、(静商は準々決勝で松山商業と対戦し敗退、三沢高校と松山商業の決勝戦を家で見ていた記憶がよみがえりました)人の持ち物には色々な歴史があることを感じますね。

懇親会 『静商の思い出』を 令和6年 総会懇

持参した物については説明してもらい、そのユニフォームに手を通して参加者に披露してもらいましたが、普通に着られたのはさすが元プロ野球選手。体形が変わっていないのにも驚きました。

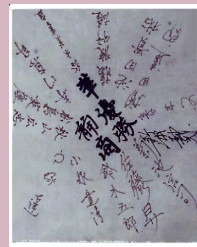
他にも、郷土料理の提供に寄与した「Team 由比」の紹介トークや、「静商の今昔」や「50回大会の決勝」「応援団フェスティバルから」などの動画もあって、静商時代を楽しむことができたと思います。

55年の時空を超えて静商時代に戻る瞬間を何度も味わい、この運営役員としての準備期間は、今思うと本番以上に楽しい時間だったかも知れない。

皆さんの管理の良さと、松島さんの物持ちの良さに、感心したものです。

話をしている内に、「あいつ、こんな人物だったのか」と新しい発見もあるし、同じ場所と同じ空気を吸っていた実感がふつふつと湧いてきます。

思い出の品々



うか。これからもこの会がやっていけるか心配ですが、長く続いてほしいと思いました。



シリーズ 第一回 『卒業生の本音』

今回は良いことばかりではない、卒業生の本音を綴りました。次号からどんなエピソードが飛び出すかお楽しみに！



33号でご紹介しました『おじさん図鑑』の著者飛鳥圭介氏（S41年卒野秀美さん）に関東支部の会員に向けて連載をお願いしたところ、快諾いただきました。さあ『卒業生の本音』をスタートします。



『たった一つの傷』

飛鳥圭介

1963年（昭和38）年に静商に入学した私は、たぶん史上最多の入学数だったろう。団塊の世代と称されるゆえんだ。もう60年前のことになるが、18歳までの静商での三年間はほんとうに思い出しに満ちた輝かしい青春の日々だった。往時茫茫とはいえ、いま数々の出来事が鮮明に甦る。しかし、良いことばかりではない。今回はあえて、マイナスの極私的記憶の一つを書く。

私は静商在学当時、いろいろな理由で「帰宅部」を余儀なくされていた。今となつては自分の怯懦に情けない思いもするが、当時は割と真剣に悩んでいたことがある。それは上級生（とくに2年生）のクラブ活動における「暴力」だ。入学してすぐに某クラブに入ったが、部活が終ると2年生が「お前らの態度はなつてない、気に入らないから残れ」といふのだ。そして教室の床に1年生が並んで正座させられ、「目をつぶって両手を挙げる」と怒鳴られる。それが30分ほど続く。あるときは、上級生

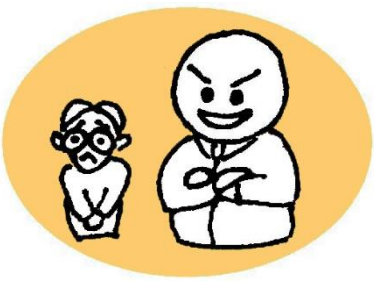
のあとについてスリッパのまま校庭に出て練習をしたら、2年生が「お前らはスリッパで出るなど10年早い」と烈火のごとく怒り狂い、やはり1時間ほど正座させられた。あまりの理不尽さに納得できない旨を挙手の上で口にしたら、いきなり殴られた。

こんな無法なことはない、と担任教師に相談したら彼は、部活にはつきもので珍しいことではない、というのだ。たった1年しか違わない「先輩」に理由もなく殴られるなどあつてはならないことだ。その少し前に3年生の部長から「君は部の規律を乱すから（たぶん異議を申し立てることだろう）やめてくれないか」といわれたこともあり、私は憤然として某クラブを退部した。

そうしたら、同級生から「根性がない」と腐された。聞けば、「お前などぬるい。そういう経験を積んで当然のようにいつか運動関連クラブにはもつと酷いしごきがあるとも、私は「静商のクラブは旧軍隊なのか」と思った。新兵を殴ること、「強い兵になる」という旧軍の悪弊と幻想が当時の静商にも残っていた。

現在では、たとえば野球の強豪校で「暴力」事件があれば、甲子園の出場も取り消されるといふくらいのもっと重大事になっている。とはいえ、60歳過ぎの静商の同期会で、私がこの話をしたら、「バカ教されたから今がある。ああしなきゃあ、分らないヤツもいるんだよ」と上級生の暴力を肯定した男がいた。たぶんこの同期生も新1年生を「しごいた」経験があるのかもしれない。「暴力」がい思い出になつていいる人は、他人にもそれを強いることが多いというの事も事実だ。

楽しかった静商時代の一つのキズが、私にとつては、クラブの先輩による理不尽な「暴力」だった。（了）



静商同窓会関東支部の最新情報をお届けします

パソコンで検索するなら

ビバ静商!

スマホ・携帯から直接アクセス

関東支部 HP

facebook ビバ静商!

ブログ ビバ静商!

会報 1号～33号まで国会図書館でも閲覧できます。閲覧コード 89238

同好会 だより



年齢の隔たり無く無礼講で笑顔のキャッチボール。仲間達と出掛け、ランチとティータイムのおしゃべりは心のリハビリ。これこそ同窓会の神髄かもしれませぬ。絆を深めるSCあじさいも30回を迎えました。

【川越散歩】



令和6年3月 小旅行気分
川越を楽しみま

した。寒の戻りで期待していた喜多院の枝垂れ桜は開花が遅れていました。が、人気のおしゃれランチ「さつまいものミニ懐石」に舌鼓。青空の下、地の51年卒中島さんの先導で蔵造の街並みを楽しみながら散策。小江戸川のソースフライせんべいのお土産を手に、歩く、歩く！

【江戸東京たても園】



6月 武蔵小金井駅からバスで5分。緑豊かな自然の中にある「江戸東京たても園」で江戸の昭和の時代にタイムトラベル。和と洋の様々な歴史的価値の高い建造物は靴を脱いで当時の生活を自由に学ぶ。映画やTVのロケ地にも利用される昭和30年頃までの個性豊かな商店の街並みの記憶を蘇



デリカおんどるにて
本格韓国料理を楽しむ

【新大久保にて韓国気分】

9月 渡韓気分で大久保に繰り出す。「デリカおんどる」のリーズナブルな韓国料理を美味しく頂きながら会話も弾みます。「美しい人は更に美しく、そうでない人はそれなりに・・・」等と冷やかしのウインドウショッピング。韓国食材が豊富なスーパ―「韓国広場」で至福のお買い物。残暑はまだまだ厳しく「韓流茶房」に涼を求め。新大久保には珍しい中高年女性にピッタリの癒やしの空間を発見。見た目も美味しそうなパッピンス（かき氷）に魅力的な韓国茶のセットでおしゃべりに拍車がかかりました。



新大久保の「韓流茶房」にて

【紅葉の小石川後樂園】



小石川後樂園の紅葉

12月 小石川後樂園の素晴らしい紅葉の景色を堪能。神保町で人気の老舗ビアホール「ランチョーン」に開店前から並んで順番を待つ。お得な肉と魚の盛り合わせワンプレートランチをオーダーし、お水で乾杯！自家製のトマトドレッシングは長年培ってきた優しいお味で流石でした。小石川後樂園まで20分歩くと江戸の趣がある築地堀に目を引く。池を中心にした自然林を活かした江戸大名庭園は紅葉の最盛期。家族連れや外国人も楽しんでる。素晴らしい景色を観賞した後は東京ドームシティラクーアでポンドクリューのあるカスタードクリームとコーヒードーナツぱいの黄昏時になりました。

【崎陽軒工場見学】

令和7年3月 崎陽軒横浜工場見学。シユウ

マイの生産ラインとお弁当の鮮やかな手詰め作業を上階から窓越しに見学。シユウマイの原材料で保存料も使われない歴史あるシユウマイを試食し、出来たてはさすが美味しい。レトロな電車のフォトスポットで窓から駅弁を買う姿を記念撮影。人気の醤油入れの「ひょうちゃん」の100種類ほどの表情豊かな愛らしい絵に魅せられた。思いもよらぬ癒やしの時間も持ちました。



シユウマイ娘と一緒に

近隣在住の参加者38年の栗山さんから情報を得て、歩いて10分ほどの人気の手打ちそば「吉田家」2F和室でお好みの丼のセットで一息のランチ。直ぐ前IKEA港北店を1時間ほど回遊後、店内のレストランで締めめのスイーツをじゃんけんしてエアしておしゃべりに拍車がかかりました。

SC あじさい 会長

S 43年卒 岡本朗子



恒例のSCゴルフ同好会の新年会を令和7年1月25日(土)にシーボニアメنزクラブにて、15名の参加を得て開催いたしました。



会議内容は①役員の改選②今年度のコンペ開催日程の決定等③その他。その結果長年にわたり幹事を務めていただいた49年卒高山房之さんが体調等の都合により辞任し、新たに48年卒の相川雅美さんに次期幹事を引き受けていただき新年会にて承認されました。高山さん長い間本当にお疲れ様でした。相川さんよろしくお願いたします。新年会は皆様の近況報告今年の意気込みが披露され和やかに進み楽しいひと時はあっという間に時間がたつてしまいました。

を過ぎても寒い日が続きましたが、間もなく桜の季節が巡ってきました。春爛漫の花見ゴルフシーズン到来と楽しみしていました。第76回春のコンペでしたが、悪天候でやむなく中止と致しました。我がゴルフ同好会は高齢化が進みこのところの夏の酷暑は耐え難く危険でもあり、春秋の年2回のコンペに変更しただけに残念な結果となりました。秋は、前夜祭を楽しみ泊りがけのコンペを開催したいと考えております。夏は、東宝調布ゴルフ練習場にてレッスン会とミニコースのラウンドを実施する予定です。ゴルフを上達するためには練習以外はありません。我々高齢者はドライバーを300球も打てません。体が壊れてしまいます。ただし50ヤード以内のアプローチならいくらでも打てます、そして上手くなります。練習は嘘をつきません。これからゴルフをやってみたいと考えていらっしゃる方、初心者の方は是非一度レッスン会に参加なさってみませんか？歓迎いたします。

令和7年は3月半ば
S38年卒 後藤忠昭
ゴルフ同好会 会長

■令和6年(2024)6月以降の開催・予定■

- ◆第75回秋 R6.10.20(日) 房総CC前夜祭開催
R6.10.21(月) 房総CC実施
- ◆新年会 R7.1.25(土) シーボニアメنزクラブ
- ◆第76回春 R7.4.2(水) 取手桜ヶ丘GC
悪天候の為順延
- ◆第76回春 R7.6.2(月) 4.2リベンジ開催予定
- ◆東宝調布スポーツパーク レッスン会開催予定
- ◆第77回秋のコンペ R7.10 前夜祭あり
開催日・場所未定



第75回・静岡から参加のS51年卒関原さんと奥様が見事2,3位に！優勝の後藤会長

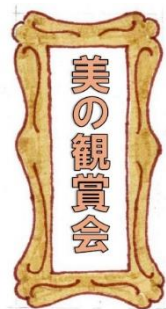
◆ゴルフ同好会幹事長
退任に寄せて



私(高山)が、ゴルフ同好会の幹事長を小長井大先輩(S34年卒)から引き継ぎを行ったのは平成23年の正月の新年会からでした。その年の初コンペは東日本大震災が起こってしまい、ゴルフどころの話ではない！と云う意見とこんな時こそ経済発展の為に普段通りに！と云う意見が出ました。結果平成23年7月19日に通算44回を20名の参加で開催したという波乱の幕開けでした。それから、令和6年10月の第75回の定例会まで勤めさせて戴きました。退任理由は、個人的に病気を患ってしまった。力的にも衰えが激しく、体力的にも動けなくなってしまう、会員様にご迷惑をお掛けしてしまうと思っただけです。途中、令和元年のコロナ騒動・令和2年の台

風直撃などで何度か中止延期もありましたが、楽しいゴルフをモットーに14年間務めさせていただき、純粋にゴルフを楽しめるとホッとしました。これからは変わらざるが、同好会を盛り上げていきたいと思っております。次期幹事を引き受けて下さった相川さんありがとうございました。これまで、協力して戴きました方々、感謝の言葉しか有りません！ありがとうございました。

S49年卒 高山房之



静商を代表する二人の芸術家がいる。一人は版画で新境地を開いた海野光弘氏(1939~1976)であり、他の一人は北川民次氏(1924~1989)である。海野光弘氏は39歳という若さで脳溢血で逝去された。一方北川民次95歳の長寿を全うした。北川民次氏の生誕130年記念ということで、世田谷美術館で令和6年9月21日から11月27日の間北川民次展が開催された。今回歩く会(会長中村美保子さん)と美の観賞会は合同で10月19日午後2時に美術館前に集まり作品を鑑賞した。北川民次氏は静岡県榛原郡五和村牛尾の製茶業を営む農家の8人兄弟の末っ子として生まれた。17歳で静岡商業学校を卒業すると東京に出て早稲田大学予科に入学するが19歳で中退し、20歳でアメリカのオレゴン州のポートランドに兄を頼って在住しさらに、シカゴからニューヨークに移り、27歳の時から15年間メキシコに滞在した。昭和11年42歳の時日本に帰ってきた。作品は多様性に富み、メキシコの大家シケイロス(1896~1974)の影響を受けて大画面の壁画も描いている。人物も作品も一筋縄にとらえることのできないスケールの大きさを感じた。



美の観賞会 会長
S35年卒 秋山卓男



◆ 秋の例会 ◆

【世田谷線沿線の神社巡り
まさにインバウンドの世界】

令和6年10月19日
参加者11名

世田谷線松蔭神社駅で参加者の皆さんを待っている時の出来事です。土屋さん（45年卒）が肩に掛けていたタオルを見て「静商の方ですか、私も静商です」と呼び止めてくれた女性がいました。平成25年卒だそうです短い時間でしたが静商話に花が咲きました。

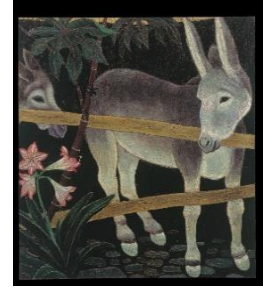
10時30分「松蔭神社」→「豪徳寺」→「世田谷八幡宮」→宮の坂駅、ここから見た目もかわいい世田谷線に乗って移動。



肩掛けタオルが出会いを呼ぶ

用賀駅から砦公園まで歩き世田谷美術館で美の観賞会秋山卓男さん（35年卒）と合流し『北川民次展 メキシコから日本へ』を鑑賞しました。北川民次は若くして渡米し、美術を学びメキシコに移り画家、美術教育者として活躍した静商の大先輩です。帰り掛けにこの作品展の学芸員さんから北川民次の静商時代の事について尋ねられると言う場面がありました。チケット購入時に何のお仲間かと聞かれ、「後輩です！」と答えたのが学芸員さんの耳に入ったのでしょうか。大石支部長（45年卒）がいくつかの質問を調べ上げ後日報告したところ貴重な情報が含まれていて大変喜ばれたそうです。用賀駅に戻りゴール

【美の観賞会との
コラボ企画
偉大なる先輩の
美術鑑賞】



展示作品「ロバ」

◆ 春の例会 ◆

【渡部幹事長プロデュース
千葉の佐倉はさくら色】



令和7年3月29日
参加者15名

佐倉は同窓会関東支部渡部幹事長（48年卒）の地元と言うことで全面協力を頂きました。しかし当日は雨、風、10



度以下の寒さのトリプルパンチ、それでも昨年の教訓を生かして見学場所や休憩場所を屋内にして雨天決行を試みました。歴史民俗博物館に到着。第1展示室（古代）から第6展示室（現代）まで人々の暮らしが繊細な模造展示によって詳しく、また小学生にも理解できるように工夫されています。足元が悪いため坂道は避け迷い道に入りながら1時間10分掛けて佐倉高校に到着。校内の一角にある記念館を館長さんの説明付きで見学しました。皆さんご存じの長嶋

佐倉高校記念館前にて



（現代）まで人々の暮らしが繊細な模造展示によって詳しく、また小学生にも理解できるように工夫されています。足元が悪いため坂道は避け迷い道に入りながら1時間10分掛けて佐倉高校に到着。校内の一角にある記念館を館長さんの説明付きで見学しました。皆さんご存じの長嶋

茂雄さんや俳優の藤木直人さん、杉野遥亮さんの母校です。なんとなく卒業以来行っていない我が母校静商にも行きたくなりました。外に出ると雨は上がり足早に京成佐倉駅まで歩きゴール。（15時45分）お疲れさまでした。

歩く会 会長
S 51年卒 中村美保子



【日本橋馬喰町
『たいこ茶屋』鮎づくし】

令和6年3月2日
参加者10名でまぐろを思う存分に堪能した。大盛り料理と旨い酒で



ギガかき揚げ 鮎のてんこ盛り
どれもボリューム満点！！



酒も肴もパフォーマンス
も大満足

宴たけなわになってきたタイムリングでこの店自慢の「まぐろ解体ショー」が始まった。切り分けられた目ん玉、大トロ、赤身などそれぞれ部位ごとにセリにかけられ客席のあちこちで声飛び交った。我々のテーブルからも果敢に参加して戦利品を手にした。満腹感と旨い酒、そして楽しい仲間との語り合いを大いに愉しみながら予定の3時間はあっという間に過ぎお開きとなった。さて、次回はどこに行こうか、「蕎麦会席」なんてどうだろうか。ご要望があったらぜひご一報ください。旨い酒と旨い肴を
S 38年卒 杉本博行



令和6年5月29日の第104回から令和7年4月16日まで9回開催いたしました。雨天で7月8月11月の3回が中止となり令和6年度テニスは残念な年となりました。累計参加者は53名でした。会員の平均年齢も高くなり故障者も多くなり常時参加者が少ないのが悩みの種でありました。健康維持に興味のあるかたのご参加をお待ちしております。



今回は毎月例会を開催する都立亀戸中央公園テニスコートを紹介いたします。昭和55年6月1

日に開園されました。日立製作所亀戸工場跡地を整備した公園です。10万3千㎡余の広大な面積です。東武亀戸線の亀戸水神駅から徒歩8分位の所の江東区亀戸9丁目にあります。3ブロックに分かれていて自然が豊かで四季折々花や木々を楽しめる季節には多くの人が訪れ、スカイツリーを背景にした桜並木が名所となつています。またサザンカの名所としても知られていて「原種」である艶やかな「鎌倉絞り」名桃色の大輪の花が特徴的な「笑顔」など様々な種類のサザンカ4千本が11月から1月末頃まで咲き乱れます。この様な自然豊かなテニスコートで毎月テニスができることは大変幸せなことです。



第112回・亀戸中央公園 桜の下で

テニス同好会創立者で初代会長の宗野治義さんが3月23日急逝され、会員一同ご冥福をお祈りいたしました。平成23年11月6日5名の参加者によつて都立大井ふ頭中央



第103回、104回に参加の宗野さん R6年12月の忘年会にも参加されました。



◆初代会長 宗野治義さんを偲ぶ



第111回 テニス後お花見会 『花映けど話は咲いて桜顔』 S39年卒杉山さん句

公園テニスコートで発足し、これまで112回のテニス同好会の開催が継続している事は宗野治義様のご指導があった事と優しいお人柄によつてお付き合いが続いた事と感謝しております。今年の桜は開花してから寒暖差が続いた天候不順により長期にわたり鑑賞出来た事が幸いして亀戸中央公園テニスコートの周りの里桜が満開を迎えていました。4月16日の第112回はソメイヨシノ桜も最後の花で迎えてくれ桜吹雪の中で開催し、宗野さんの思い出を語り感謝を伝えました。

■令和6年(2024)5月以降開催■

◆第104回	R6. 5. 29	(水)	三井物産
◆第105回	R6. 6. 19	(水)	亀戸中央公園
◆第106回	R6. 9. 18	(水)	亀戸中央公園
◆第107回	R6. 10. 16	(水)	亀戸中央公園
◆第108回	R6. 12. 18	(水)	亀戸中央公園
◆第109回	R7. 1. 15	(水)	亀戸中央公園
◆第110回	R7. 2. 19	(水)	亀戸中央公園
◆第111回	R7. 3. 26	(水)	亀戸中央公園
◆第112回	R7. 4. 16	(水)	亀戸中央公園

テニス同好会 会長 S38年卒 梶山恭一

今回は残念ながら51年卒のプロの演歌歌手、川守宏さんが参加されず寂しくもありましたが、参加者全員が審査員となりチーム対抗や個人戦を競いました。心の健康と楽しい人間作りを目的としたカラオケ同好会は発足以降30回を迎えることができ嬉しく思います。



今回は女性参加者が8名と多くS51年卒の中村さんの提案で即興ハンドベルを披露しました。当日ハンドベルと『諸人こぞりて』の楽譜を渡され四苦八苦の面々でしたが楽しくて来年はもっと腕を磨くぞと誓いました。カラオケ同好会 会長 S48年卒 齋藤まり子



皆が悪戦苦闘する中、S48年卒の及川さん(右端)だけは音楽部の腕前を發揮し、綺麗な音色を奏でました。

◆即興楽団 サプライズ登場◆ 特技を披露も大歓迎のカラオケ同好会。過去には小長井さんの詩吟や萩原さんのウクレレも登場

同期会 だより

米寿を祝う いそろく 関東五十六会

S 30 年卒 石貝晃司

『米寿の会
友と未来の夢語る
卒寿で飲もう
また白寿でも』
——米寿川柳——

昭和11年生まれ、五十六会（56回）の会員は昨年米寿を迎えた。これを記念して同年4月に横浜中華街で例会を行なった。元氣な5人が集い、お互いに長寿を祝い、あの日の頃の思い出や近況を語り楽しいひと時を過ごした。閉会后、希望者によりミニ周遊バス「あかいくつ」号で大栈橋客船ターミナルに行き、大栈橋を散策した。当日は天気にも恵まれ春



S30 年卒 五十六会

の横浜港を満喫した。関東五十六会の会員は現役時代にかつて関東に居住し、その後静岡に帰省した仲間も加入しており、現在の会員は19名でユニークな仲間がいる。母校静岡の元校長の原川芳朗氏、当支部の二代目支部長の海野昭氏、ソバ打ちのスペシャリストの古井陸士氏、また元プロ野球選手の故興津達雄氏も生前はメンバーでこの同期会に参加された。

藤崎一昌さんを 偲んで

S 38 年卒 吉澤英夫

昭和38年卒同期の「藤崎一昌」さんは、吉澤と同じ静岡硬式野球の部員であり、私はショートを守り、彼はエースピッチャーとして大活躍。静岡卒業後、私は銀行員として就職勤務、藤崎さんは、若くしてアメリカに渡り、頂いた手紙では、ヒッピーの生活も経験するなど大分苦労したようだ。

その後、彼とは長い間音信不通であったが、彼と再会したのは、私が銀行を平成12年5月に退職して東京で生活するようになった頃であった。当時、彼は、東京証券取引所の一部上場企業の役員として勤務していた。関東地区における昭和38年卒の同期生は十数人と多く、年2回のゴルフコンペ、夏の暑気払い会、年末の忘年会、桜を見る会、更には、静岡地区および関東地区在住の昭和38年卒有志による秋の泊旅行など交流が盛んであった。ただ、ここ2、3年藤崎

さんとは、コロナウィルス感染や彼の体調不良などで交流が途絶えがちであったが、元気で生活していると思っていた。

有志でお墓参りすることとした。11月1日お墓参りの後、箱根で一泊して、藤崎さんのお別れ会



S38 年卒 同期会



藤崎一昌さん墓標

と慰労懇親会を開催した。我が38年卒の同期生は、関東支部の会員としてピーク時には20名近くおり、関東支部の同窓会活動を大いに盛り上げてきているが、現在では寂しい限りである。一人減り二人減りと半減して来ている。最も、残りの38年卒の同期生は、傘寿（80歳）ないし、半寿（81歳）を迎えているが、これからも関東支部の同窓会活動に大いに協力していくことを決意している。

てんぷら
天富

品川区大崎3-5-2 JR大崎駅
エステージ大崎107 西口徒歩3分
電話 03-3779-3895
土曜・日曜・祭日定休
営業時間 ランチ 11:30~13:30
夕食 17:30~21:00

河田 正勝(S39年卒)

第2回 関東支部同期会旅行

S40年卒 原 初典

令和5年5月に喜寿を契機に始めた同期会旅行は、第2回目を令和6年5月21日(火)・22日(水)の両日開催しまし



S40年卒 同期会旅行

参加者は昨年の6名から5割増しの9名です。今回の同期会旅行のテーマは、10年後の米寿まで健康で長生きし10回目の旅行を全員で元氣良く迎える為に、パワースポット巡りでエネルギーを戴こうと言う事でした。

1日目の熱海市・来宮神社は、樹齢二千年超の「大楠」で、幹を一回りすると一年寿命が延び、願い事を唱えて回ると纏まると伝えられ、近年日本屈指のパワースポットと言われている。2日目の神奈川南足柄市の開創600年の大雄山最乗寺は、面積128ヘクタール(東京ドーム27個分)の杉の木17万本で、こちらが大パワースポットで、因みに最乗寺建立時の総責任者・道了尊は土木工事が得意であった事から、土木工事の仏(神様のような人)と言われ、この為毎年正月には関東一円の土木関係者が挙って初詣に訪れるとの事です。

さて2時に熱海駅・足湯に集合でしたが、運悪く前夜から温泉パイプが故障し足湯はお休みでした。直ちに来宮神社に向かい、大楠に願を懸けて、その後今晚の宿にチェックイン。ひと風呂浴びて、持参したビールと乾き物で最初の乾杯。その後ホテルの海鮮バイキングを肴に2度目の乾杯、更に部屋に戻って二次会で3度目の乾杯。二次会では今回初参加の4名に持ち時間20分で静商時代・会社員時代・退職後の四方山話をお願いした所、多くの突込んだ質問が飛び交った為、皆さん持ち時間オーバー。



然しながらこれが好評で二次会を通じて参加者の銘記を新に出来、こんな同期と楽しく愉快に過ごせる会ならば次回以降も参加したいと言う感想が多く、あつという間の4時間でした。

2日目の大雄山最乗寺では、前夜の不摂生と石段の数708段と言う事もあり、本堂と浄心の滝、結果門まで登るのがやっと。高下駄で有名な御真殿や奥の院迄行く気力もなく全員途中で下山しました。それでも樹齢200年を超える杉の大木の参道で沢山のパワーを得て、すがすがしい気分以最乗寺を後にしました。小田原駅近郊の食事処で2日間の無事と7月の総会並びに来年の再会を誓い最後の乾杯をしました。小田原名物「守屋のアンパン」をお土産に、帰路につきま

わたくしたちは、30万人を超える団塊の世代真っ最中で、受験戦争、高度経済成長、バブル崩壊、定年退職などジェットコースターのような世の中を生き抜いてきました。後期高齢者になってあらためて人生を振り返って、今は家族や社会に対して暖かく余裕を持つて見ることが出来る円熟したよるこびを感じられる歳になりました。これか

わたしたち昭和43年卒は、国から後期高齢者(75歳)の通知を受け取りました。そんなこともあって、令和6年11月30日に新橋駅1分の中華料理店「過門香」の完全個室にいままで最多数の13名(女性7名男性6名)が集いました。参加者はそれぞれがあらためて自己紹介や近況報告などをして、この会に参加出来たことよろこびや自身の健康問題、まだまだこれからやりたいことなど、なごやかな雰囲気です。2時間があつという間に過ぎました。

飛翔会 令和6年忘年会 「人生の円熟期を迎え」

S43年卒 山口憲治

わたしたち昭和43年卒は、国から後期高齢者(75歳)の通知を受け取りました。そんなこともあって、令和6年11月30日に新橋駅1分の中華料理店「過門香」の完全個室にいままで最多数の13名(女性7名男性6名)が集いました。参加者はそれぞれがあらためて自己紹介や近況報告などをして、この会に参加出来たことよろこびや自身の健康問題、まだまだこれからやりたいことなど、なごやかな雰囲気です。2時間があつという間に過ぎました。



二次会は浜離宮庭園を散策



S43年卒 飛翔会 13名が参加

何年生きられかわからないことを思うと、このような機会の重要性和次回への期待を確認し二次会は解散しました。二次会は、有志7人(女性5人男性2人)で晩秋初冬の「浜離宮庭園」を散策しました。「浜離宮庭園」は徳川家の直属の狩場だった公園で日比谷公園より広い敷地にコンクリートの建物がない300年を超える松や鬱蒼とした森、海水の混じる広い池に渡り鳥が静かに水面に揺れている様はとても都心とは思えない心地良さです。7人は40分ほどの散策に浸りながら公園を後にしました。さらに、5人(女性4人男性1名)が三次会で新橋の「すしざんまい」で会食しながら、飛翔会への思いを確認し再会を祈って解散しました。

関東支部には活動の根幹を成す 4 部会(組織部会・企画部会・広報部会・応援部会)があります。それぞれの部会を順にご紹介いたします。

組織部会

組織部会では会員の管理として会員の住所の把握と新規会員の発掘を主な活動としていますが、今年度は次に掲げる活動にも注力しました。

《本年実施の 会則改正に向けて》

組織部会の令和 7 年度活動の重要テーマは、会則改正の総会承認と実施です。

前回の会報(33号)にも記載していますが、昨年からは今年にかけて、静商同窓会本部の会則変更に伴い、関東支部の関係する条文の変更が発生し、同時に、支部創立三十余年の経過に伴うその他の条文についても改善の必要性が生じてきました。

右の理由から、昨年は検討委員会(8名の構成)による都合 8 回(各回 2 時間程度)と、検討委員会事務局(支部長・幹事長・

組織部会長の 3 名で構成)による 2 回の各々リモート会議の開催により「会則改正案」・「支部運営細則案」を作成、拡大常任幹事会で審議、拡大幹事会で結審後、会員宛てに案内文を会報(34号)と共に送付の上周知を図り 7 月の総会での承認を経てスタートいたします。

《令和 7 年卒業生を 迎えて》

今年の母校の卒業生に対する歓迎挨拶と説明会が、2月26日(水)母校にて行われ、関東支部より大石支部長、相川・岩城両副支部長が出席されました。今年の関東地区に在任予定の卒業生は 37 名で、全員が大学進学とのことです。

当日は、関東地区居住予定の卒業生に、関東支部会員の入会歓迎会を 5 月 10 日(土)開催のご案内と併せて会員登録をお願いいたしました。また、静岡に在住の卒業生には、転勤等による人事異動・結婚・その他の事情により、将来的に関東地区に居住された場合の関東支部への転入手続きも併せて説明いたしました。

会の積極的活動内容の説明を実施、卒業生のご理解をいただきました。

組織部会 会長
S 45 年卒 安藤 俊

企画部会

企画部会は総会・懇親会開催を担当する次回運営役員への支援、同好会活動の活性化、支部主催イベントの企画立案などの活動を行っている。

① 令和 7 年度総会・懇親会開催に向けた取り組み

今年度の企画部会の活動内容は以下の通り。

- ・会場・料理の再検討
- ・昨年の都道府県会館の実施状況を踏まえ、今後継続してゆくことのは非について検討を実施。
- ・運営役員へ役割説明

令和 7 年度担当の S 46 卒、S 56 卒はこれまで懇親会を取り仕切った経験が少なくというところで

運営役員の役割について説明会を実施するとともに、計画策定のサポートを行った。

② 同好会活動 活性化について

同好会活動のバリエーションの多彩さは、関東支部の大きな特徴の一つである。

企画部会としては、各同好会の更なる活性化に向けた取り組みを進めたい。

① ゴルフ同好会

最近、メンバーの高齢化による参加者の減少が顕著となっている。ゴルフは誰でもが参加できる訳ではないという特性上、新たなメンバーを募るのが容易ではないことから、今後は高齢でも参加し易い比較的平坦なコースでの開催や、時にはパークゴルフの実施など、高齢となったメンバーでも参加し易い企画も視野に考えたい。

② テニス同好会／歩く会

比較的だれもが参加し易い同好会である。初心者も含め、新規参加を呼びかけるなど、開催場所も含め活性化への取り組みを進めたい。

③ 旨い酒旨い肴を楽しむ会／SC あじさい／カラオケ同好会／美の観賞会

これらの同好会についても開催案内などの改善(例えば、事前案内などのガイドパンフの配布など)・新メンバー発掘に繋げる「参加してみたい企画」に取り組みたい。

企画部会 会長
S 48 年卒 相川 雅美

広報部会

広報部では、昨年の 33 号から会長の交代、新メンバーの加入もあり、新体制でのスタートで、慣れない編集作業も部員一人何人も集合して協力しあい完成させました。その甲斐あってか概ね好評価をいただき、次の 34 号に向けて意気が上がり、関東支部会員皆様のご協力に感謝の気持ちでいっぱいです。

この度の 34 号から 47 年卒の馬淵興二さんが新メンバーとして加わり、広報部の層も厚くなり新しいことにもチャレンジしました。

馬淵さんは静商時代美術部の部長で学校行事のポスターを描いたこともあっては題字やイラストを描いていたいただきました。

SC 関東支部では、高齢化が進み存続も心配されている現状ですが、逆にこんな大勢の高齢者の方々が元気で活躍している同窓会は他にもなく素晴らしいのではないかと、思い、会員の方たちの活躍をもっととお伝えしていくことが同窓会活性化の源になるのではと広報部の役割の重要性を

感じています。広報部では、フェイスブックやHP、ブログで『ピバ静商!』を発信する活動もしています。同好会開催報告や静商関連情報も、お楽しみいただけます。是非覗いてください。

◆新メンバー S 47 年卒馬淵興二さん 自己紹介



34 号から広報部に入りました S 47 年卒の馬淵です。

ワードなどは殆ど使用したことがありませんが静商時代は美術部に在籍し文化祭のポスターなどを書いていたので、そちら方面で役に立ってるかも? と思っています。卒業から 50 年過ぎていて腕も落ち、不安も大きいのですが一からのつもりで挑戦してみようと思います。

広報部会 会長
S 48 年卒 齋藤 まり子

応援部会

応援部会は母校の部活動を応援するために立ち上げた部会です。運動部・文化部が全国大会等で関東に来た際に関東支部の有志が集まり応援・激励に駆け付けます。

これまでに硬式野球部の関東遠征・水泳部の全国大会出場・軟式野球部の東京開催国体出場・女子バスケット部の全国大会出場・情報処理部の全国大会出場・チアリーディング部の全国大会出場に応援・激励に駆け付けました(一部は電話で激励)直接応援の他にフェイスブック『ビバ静岡』に母校部活等の活躍や話題を投稿する活動も行っています。是非ご覧ください。

母校の現状は少子化により我々の在学時より生徒数も減って部活も減っていると言いますが、母校のホームページを覗くと運動部・文化部ともに頑張っている様子が窺えます。後輩の皆さん頑張ってください。

関東から応援しています。頑張れ静岡!!

尚、今年も開催された硬式野球部『曲田監督を

囲む会』の模様は次の通りです。ご覧ください。

応援部会 会長
S48年卒 渡部廣志



昨年引き続き関東で開催される第11回目の母校『硬式野球部監督を囲む会』が曲田監督をお迎えして令和7年2月15日(土)シーボニア・メンズクラブにて開催されました。メンバーは、静岡から曲田監督、望月硬式野球部ネット会会長、関東からは昭和38年卒、49年卒の8名が出席、合計10名とちょっと少ない人数の会になりましたが、母校野球部に対してはかなり熱い思いの方々が集結しました。

「関東8人の

ジイジ達の質問」

集いし8人のジイジはまさに昭和そのものの熱き事この上無し。

然しこれも致し方ありません。何故なら、ここ数年来、春、夏、秋を問わず立ちほだかるベスト8の壁・・・此処を乗り越えたら、あの聖地「甲子園」です。質問も熱くもなります!

「曲田監督からの返答」

まずは昨年の報告から始まり、現在の思いを語られました。

①18年前の夏、甲子園に導いてくれた「我等が大エース、大野健介氏(早稲田大学、ヤマハ硬式野球部出身)のコーチ招聘

監督とは師弟関係にあり昨年から本格的に投手陣の指導、整備に尽力してもらっている。

②陸上トレニングコーチも元中日球団のトレーナーをされていた方に指導をお願いしているとの事で準備は万端、勝負の船出をした。

③昨秋には、大学野球オータムフレッツシニユリーグin静岡の交流試合の明治大学との試合で好勝負を展開、今年3年生になる

山本投手が好投し自信をつけたとの事、球速も140キロ近くにアップし変化球の切れも良い。ファンとしては怪我だけは気を付けて欲しいと思う。

④これからの高校野球は飛ばない低反発バットの使用、9回タイプブレーク制度の導入、7イニング制の導入の検討等々、大変革期にある。

守備と走塁を鍛え、バント練習の充実により負けない野球を目指したい。但し、昨夏の御殿場西高校との一戦は、生徒の筋トレ等のたゆまぬ努力の結果が出て勝った試合、矢張り鋭く振り切る打球を磨く事も必要不可欠であると再認識をしたとの事でした。

「関東支部からの激励」

会もクライマックスに差

し掛かり関東支部からの激励金を曲田監督に些少なから贈呈させて頂きました。



「監督からのお土産」

曲田監督から、SC名入りのミニドラ焼きのお土産を頂戴致しました。有り難うございました。有りは盛り上がりあつという間の楽しい2時間が過ぎて散会となり、皆さん満足の足取りで帰宅の途につきました。

曲田監督は静岡にトンボ帰りをし、練習の最後に駆けつけるとの事で、頭が下がる思いでした。本当に「子供達と共に甲子園出場の夢を叶えさせた」と心から野球の女神様にお願いたしました。頑張れ静岡!!

応援部会
S48年卒 青島正一

印刷工房

〒234-0054 横浜市港南区港南台1-16-5-101
TEL&FAX 045-835-0421
eメール insatukobo@nifty.com
小林吉照 (昭和41年卒業)

株式会社 鈴木塗装工務店

http://www.suzukitosou.com

取締役会長 鈴木 守 (S37年卒)

「シヤモだシヤモだと小ばかにするな、

これも仏のくれた顔」

昭和 17 年 4 月から 45 年 3 月まで 28 年の間、英語の教鞭をとられた山岸文雄先生には、生徒がつけた「シヤモ」という愛称がありました。母校・校内にも記念の碑が残るくらい先生で、今般、由比にある山岸先生のお墓に、お参りに行ったという投稿をいただいた。

1. 墓参りの動機

昨年 12 月 20 日同窓会本部前組織委員会会長古牧清隆氏にご案内頂き、大石支部長と原の二人で母校静商を訪問の折、偶然駐車場で故山岸文雄先生が寄贈された記念碑の写真撮影に見えていた遺族にお会いし、一緒に松浦校長先生と静商生の活躍や同窓会本部の様子についてお話しさせていただきました。

その折、小生は同じ清水区由比出身の縁で、在学中山岸先生に大変お世話になった旨お話し、次回帰省の折は是非とも故人の墓参りをさせて頂きたい旨約束していただきました。

2. 山岸文雄先生とは、

清水区由比の滋徳寺住職で、母校では英語の教師で、生徒たちが付けた愛称は「シヤモ」鳥のシヤモに似ているのが理由らしい。不謹慎な生徒たちが詠んだ歌「シヤモだシヤモだと小ばかにするな、これも仏のくれた顔」を本人も気に入って「最も大切な悟りの目当てとする」と切り返していた様です。お会いした折遺族から、中学時代は英語が得意だった生徒が、3 年間山岸先生に英語を教わったら、英会話が下手になった旨のエピソードをお聞きしました。先生の名誉のために申し上げると、大学時代の専攻は心理学で、静商では英語の教師が不足していたた

め、やむを得ず英語を教えていたとのこと。なお英文法では相当レベルの高い授業を行っていた様です。また、静商をこよなく愛し、佐藤行蔵校長先生（23 年間校長を務めた）から教頭として、他校に赴任するよう進言されても、静商愛が強く頑として受け入れず、30 数年間静商一筋の教員生活の樣でした。

3. 山岸先生の展墓

山岸先生はご自身ご住職を務められた清水区由比の滋徳寺に祀られておりました。山岸先生に深いご縁があられた方、清水区由比を訪れる機会がありましたら、お参りされたら如何でしょうか。

合掌

S 40 年卒 原 初典



【宗野治義元支部長の死を悼み、送る言葉】

本会報の一面に、第三代支部長の宗野治義氏の訃報を掲載した。本来であれば、同期や部会・同好会のメンバーからの言葉を募るところであるが急な話であった為、次の会報に向けて追悼の言葉を求めたいと思う。この会報では、後任の支部長から言葉を頂き、掲載させて頂きます。

【第四代 支部長

S 38 年卒 吉澤英雄】

宗野治義様のご逝去に接し、大変驚きました。

また、支部長就任に際し、氏から頂いた助言が頭に浮かんで来ました。それは、平成 22 年 7 月に海野昭氏(第二代支部長)が退任される際、次期支部長を要請されていたが、同窓会活動の

なり、極めて寂しい限りであるが、ここに慎んでご冥福をお祈り申し上げます。合掌

【第五代 支部長

S 40 年卒 原 初典】

貴台が編集・発行した「絆」で貴台の相撲好きを知り、初場所前に相撲談義をした折、町田市出身十両力士「紫雷」を応援している旨お話ししたところ、これからは自分も一緒に紫雷を応援すると言われ、早速 2 日目に紫雷が勝利した折、瞬時に「紫雷勝利おめでとう」の連絡を頂きました。まさか、この電話が最後のご縁になるとは思いませんでした。

【第六代 支部長

S 45 年卒 大石倫義】

つい先日迄テニス同好会や「絆」の編集をしていた氏の姿からは、信じられない訃報でした。関係者への連絡や弔問を通じ、感じたことは宗野氏の関東支部に対する熱い想いでした。ご家族によれば氏の部屋からは「どうしたら良いか悩む位の同窓会資料」が出てきたそう

その助言を頂き、副支部長を 2 年間経験した後、支部長を無事務めることが出来た。これも、偏に宗野治義氏の助け船のお陰と感謝している。設立当初から同窓会活動に携わってこられた方が、また、一人亡く

貴台は組織部会長・副支部長更には支部長として永年に亘、支部組織の構築にご尽力され、近年は同期との書簡集「絆」を編むなど駆け回っていました。そちらでは、ごゆっく

簿の整備に情熱を注いで来られたことがうかがわれ、30 年誌を編集する際にその一部を使わせて頂いたが、関東支部の歴史の一部を失った様な気がします。心よりご冥福をお祈り申し上げます。合掌

静商同窓会関東支部役員名簿(敬称略)

令和7年5月28日現在

役職名	卒年	氏名	住所略
顧問	昭和40年	原 初典	町田市
支部長	昭和45年	大石 倫義	横浜市戸塚区
副支部長	昭和48年	相川 雅美	横浜市戸塚区
		岩城 一恵	世田谷区
幹事長	昭和48年	渡部 廣志	佐倉市
会計	昭和51年	中島 裕子	鶴ヶ島市
会計監査	昭和49年	高山 房之	市川市
		内田 晃	さいたま市
常任幹事	昭和35年	秋山 卓男	柏市
	昭和41年	小林 吉照	横浜市港南区
	昭和43年	岩下 喜美枝	横浜市南区
		岡本 朗子	船橋市
	昭和44年	的野 典子	船橋市
	昭和45年	安藤 俊	春日部市
	昭和47年	馬淵 興二	川口市
	昭和48年	齋藤 まり子	江戸川区
	昭和51年	中村 美保子	横浜市港北区
	昭和53年	熊谷 美智男	小平市
	昭和54年	矢部 正志	川口市
平成6年	若尾 剛志	練馬区	
幹事	昭和30年	石貝 晃司	横浜市保土ヶ谷区
	昭和33年	曾我 和善	杉並区
	昭和34年	小長井 武夫	渋谷区
	昭和35年	中川 明巳	練馬区
	昭和36年	平井 幸雄	八王子市
	昭和37年	増田 数茂	横須賀市
		鈴木 守	文京区
	昭和38年	吉澤 英夫	大田区
		梶山 恭一	西東京市
		後藤 忠昭	浦安市
		杉本 博行	足立区

役職名	卒年	氏名	住所略
幹事	昭和39年	川崎 衛	府中市
	昭和40年	須川 福男	鎌倉市
		小早川 宏	松戸市
		神山 孝	さいたま市
	昭和42年	小林 幸義	松戸市
		高塚 年明	藤枝市
	昭和43年	林 和義	東久留米市
	昭和44年	長山 静枝	柏市
		木村 雅美	横浜市金沢区
	昭和45年	土屋 重和	習志野市
	昭和46年	岡島 治樹	横浜市戸塚区
	昭和48年	青島 正一	印西市
		富井 商之	川崎市麻生区
		青木 洋一	品川区
	昭和49年	根岸 巖	白岡市
	昭和50年	杉本 幸雄	練馬区
	昭和51年	萩原 克則	鹿嶋市
		井上 真理子	川崎市麻生区
		中平 整子	中野区
	昭和52年	富田 弘行	台東区
	昭和56年	高柳 佐和美	国分寺市
	昭和57年	石井 徹	横浜市保土ヶ谷区
	昭和58年	田中 彰二	横浜市神奈川区
	平成1年	天笠 律津子	綾瀬市
	平成6年	浦田 輝	台東区
	平成7年	芦澤 洋介	藤沢市
		岩科 理絵子	さいたま市
平成12年	村松 太一	野田市	
平成16年	李 慎	港区	

令和6年度決算 会計報告及び会計監査報告

(令和6年4月1日～令和7年3月31日まで)

1. 一般会計

区分	項目	金額	
収入の部	前期繰越金	1,099,623	
	本年度収入	総会会費等収入	810,871
		年会費	484,000
		寄付金	467,000
		本部助成金	0
		広告収入	30,000
		預金利息	17,029
		雑収入	0
	合計	2,908,523	
	支出の部	総会費用	1,121,233
会報発行費		242,441	
専門部会活動費		214,780	
同期会補助金		0	
会議費		237,885	
運営諸経費		256,570	
小計		2,072,909	
支部基金組入		0	
次期繰越金	835,614		
合計	2,908,523		

2. 支部基金会計

	項目	金額
支部基金	前年度末残高	4,400,000
	本年組入額	0
	本年度末残高	4,400,000

3. 財産目録

項目	金額	
三井住友銀行	支部基金	4,400,000
	次期繰越金	656,556
ゆうちょ銀行	140,619	
手元現金	38,439	
合計	5,235,614	

上記の通り、報告します。

令和7年4月12日

静商同窓会関東支部

会計

岩下 喜美枝



令和6年度 会計監査報告

監査の結果、上記の報告に相違なく適正であることを認めます。

令和7年4月12日

静商同窓会関東支部

会計監査

高山 房之



会計監査

内田 晃



会費・寄付等納入者御芳名

(敬称略:順不同、単位千円)

会員の皆様の暖かいご支援ご協力に対しまして厚く御礼申し上げます。令和7年3月までに納入頂いた方々のご芳名を下記のとおりご報告申し上げます。

作成に当たっては、誤字、記載漏れのないよう注意しておりますが、万一不手際が有りました場合は深くお詫び申し上げます。

(注)金額欄右の*印は令和6年度総会・懇親会の出席者を示します。

Table with columns for graduation year (卒年), name (氏名), and amount (金額). It lists members from 1945 (昭和24年) to 2024 (令和7年), including names like 山本 昭吾, 片山 征勇, 坊野 やえ子, etc., and a summary of total fees and donations at the bottom right.